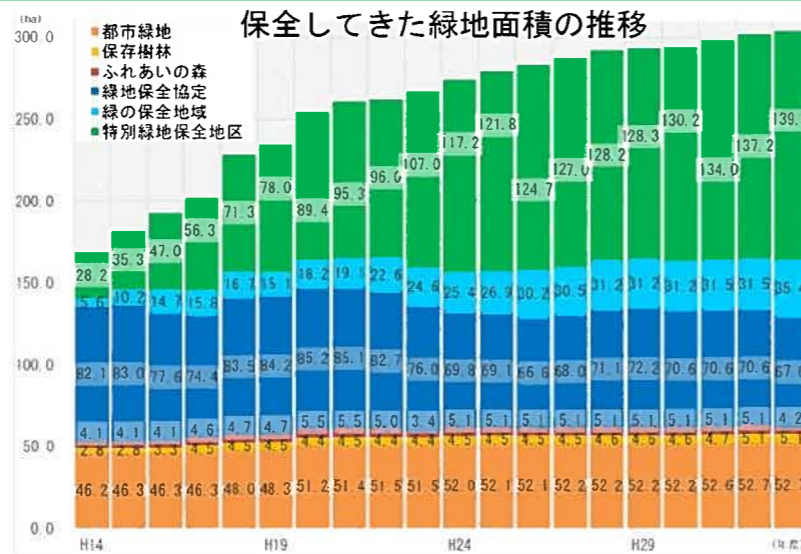


1 概要

本市では、緑の基本計画に基づき、多摩丘陵や多摩川崖線に残る貴重な樹林地の保全に取り組み、**303ha (458カ所)**の緑地を保全してきました。また、保全した緑地については、良好な自然環境を維持するため、管理のあり方を定めた保管理計画等に基づき、**市民ボランティアとの協働**により管理を行ってきました。

今後は、子どもたちや働く世代を含め幅広い世代を対象に**保全してきた良好な自然環境に触れてもらう機会を創出し、緑地の保全に関心をもってもらうことが必要**になっています。



さらに、これまで緑地の管理については、ボランティア活動により支えられてきましたが、高齢化や後継者不足などから活動の停滞、縮小といった課題にも直面しており、幅広い世代に関心をもってもらうことにより、**新たな担い手の確保につなげる**ことが必要になっています。

このような課題解決に向けて王禅寺四ツ田緑地において生み出した「緑地における利活用と保全の好循環」を踏まえ、第2期川崎市緑の実施計画（令和4年3月策定）に基づき、王禅寺四ツ田緑地においては、引き続き様々な取組を推進するとともに、**その他の緑地においても利活用と保全の好循環を創出し、持続可能な保全活動の担い手を確保し、良好な自然環境を次世代に引き継ぐ必要があります。**

2 王禅寺四ツ田緑地の取組状況

(1) 利活用の状況

自然体験学習の専門家を配置し、利活用を進めています。

- ア 一般利用者向けの利活用（土日祝祭日を基本に週1回程度、プレーパーク事業）
- イ 希望団体による緑地の利活用（ボーイスカウトの野外活動、大学の課外授業など）
- ウ 利用促進に向けた広報・PR（SNS等を活用した効果的な情報発信）
- エ 野外活動団体等と連携した企画イベントの開催

第2回「四ツ田の森でわんぱくしよ！」の結果
 実施日：令和4年5月29日（日）
 参加者：289名（コロナ対策のため事前申し込み制）

アンケートによる主な意見：

- ・体験を提供していただくと、自然遊び初心者にはありがたい
- ・利用しやすく、入りやすい形になればよい
- ・みんながもっと訪れるような場所になってほしい
- ・自然とのかかわりを学び自然を大切にすることを育む場所になって欲しい
- ・ありのままを残しつつ、人とも仲良く共存共生できる緑地であってほしい



自然観察



たき火体験



団体利用

(2) 保全活動の状況

平日の午前中にボランティアを募集し、「四ツ田整備隊」として、里山の保全活動や整備を行うとともに、緑地の利活用をきっかけとした保全活動を行っています。



園路の草刈り



伐採木を活用した階段整備

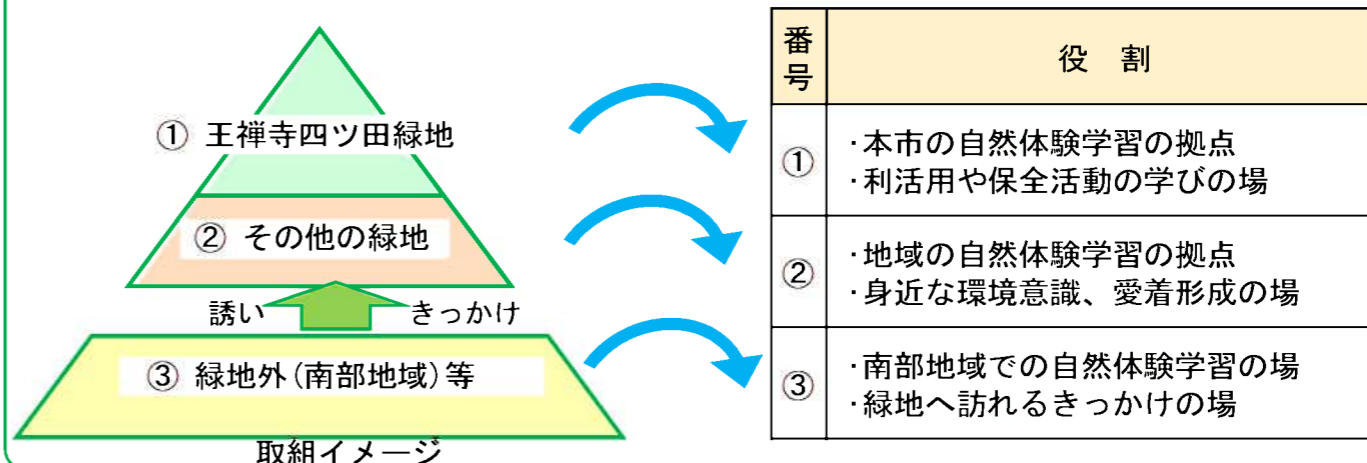


利活用団体による保全活動

3 取組の方向性

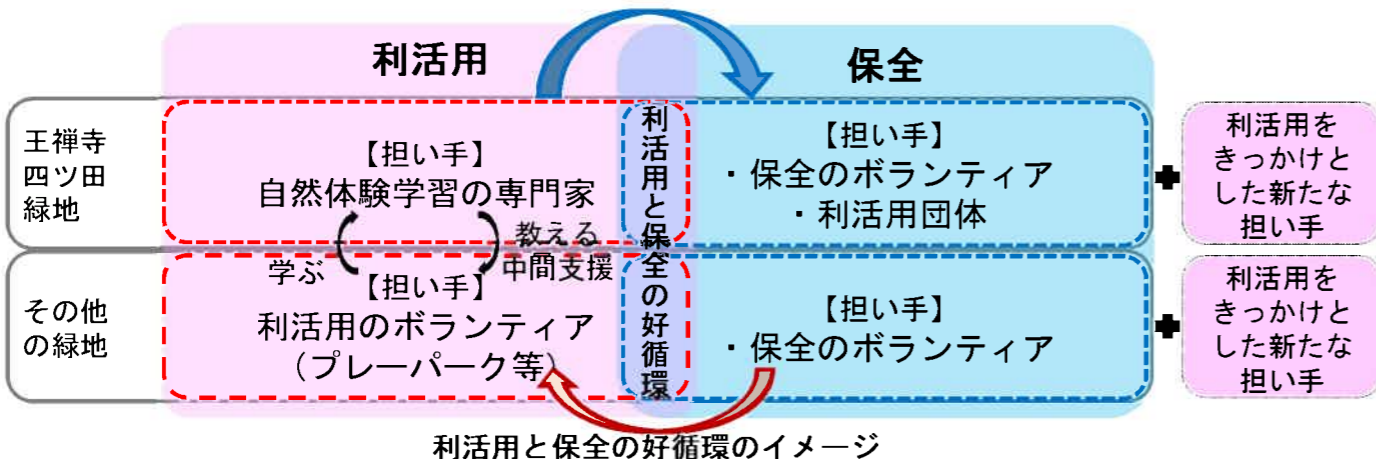
(1) 王禅寺四ツ田緑地とその他の緑地等の役割

- ① 王禅寺四ツ田緑地については、まとまった緑地の中に、草地、樹林地、竹林、池などの自然環境や管理用通路などの基盤も有り、周囲に住宅が少ないといった立地条件等であることから、その特性を活かし、**本市の自然体験学習等の拠点**として活用します。
- ② その他の緑地については、利活用をする際にあたっては、規模、地形、隣接する住宅など利用について何らかの条件があることから、**地域の自然体験学習の場、身近な環境意識、愛着形成の場**として活用します。
- ③ 緑地外（南部地域）においても、**緑地における活動への誘いやきっかけづくり**として、クラブ体験や火起こしなどの体験会等を実施してまいります。



(2) 利活用をきっかけとした保全活動の継続性を高める仕組みづくり
 王禅寺四ツ田緑地については、良好な自然環境の中で、子どもたちがのびのびと自然にふれあい、成長できる自然体験学習の機会を創出するとともに、利活用をきっかけとした参加者から新たな担い手の発掘・育成を行います。また、利用団体については、当該緑地及びその他の緑地における保全活動への協力をお願いします。

その他の緑地については、保全活動団体と利活用を行う地域のボランティアが連携し、自然体験学習等を新たに行うことにより、地域の子供たちに身近な緑地に関心をもってもらい、環境意識や愛着の形成につなげるとともに、保全活動の担い手確保のきっかけづくりを行います。



イ 菅生緑地 西地区（水沢の森）
 位置：宮前区水沢1丁目3
 開催日：令和4年11月27日（日）



(3) 緑地外（南部地域等）における取組

対象となる緑地がない南部地域については、他のイベントと連携して自然体験学習の機会を創出（クラフト体験等）することにより、緑地へ訪れるきっかけとなる場をつくります。



4 今後の取組

(1) 王禅寺四ツ田緑地の管理手法の検討

緑地を活用した自然体験学習の機会を創出するとともに、さらなる利用者の拡大による保全活動の担い手創出に向けて、取組が近い他の自然体験学習施設との連携等による持続可能な利活用の運営手法の検討を進めます。



取組が近い自然体験学習

(2) 対象緑地の拡大に向けた実証実験

市民協働による持続的な取組の可能性を確認するため、利活用と保全のボランティア団体等と連携した自然体験学習の場を創出する実証実験を行います。

ア 橋特別緑地保全地区

位置：高津区北野川6

開催日：令和5年1月（調整中）



5 スケジュール

令和6年度全国都市緑化かわさきフェアに向けて本取組を推進・拡充し、緑地を取り巻く課題解決の手法として全国に取組の発信等を行い、フェア後の本市の緑地を支える取組として推進してまいります。

	令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度以降		
取組内容	(1) 王禅寺四ツ田緑地		全国都市緑化かわさきフェア	様々な活用の検討	緑地を支える取組として推進		
	最適な事業手法の検討 週1回程度の開放日を設け一般開放	10月 1月				取組の発信・体験・検証	
	(2) その他の緑地	4月 8月	自然体験イベントの実施	対象箇所拡大（中原区、多摩区）			
	現地調査	事業者選定	ボランティア団体の調整	議会報告	自然体験イベントの実施	地域団体等と連携した持続可能な運営検討	継続実施
(3) 緑地外（南部地域等）	身近な公園緑地のできる自然体験学習メニューの検討 現地調査		イベント実施 自然体験学習 持続可能な運営検討	継続実施			